

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅰ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	中村 石渡 黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30(2)	開講区分	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トータルビューティ科の2年間の学びが理解できる 自分自身が学ぶ目的を持てる							
【授業を通じての到達目標】							
トータルビューティ科の2年間の学びを理解し、自分自身の目標が設定できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	オリエンテーション 学則について 学年暦について 授業の学び方について						
2							
3							
4						40点	
5	導入教育 クラス内役割について 清掃について 授業の持ち物・SNSマナーについて						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	1組2組:中村/黒谷 3組4組:石渡
学科・コース	トータルビューティ科共通	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30(2)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<ul style="list-style-type: none"> ・担任が社会人経験を活かし、美容学生として自覚を持たせそれぞれの業界のプロを目指す心構えを持たせる。 ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(コース)を選択できるよう導く。 							
【授業を通じての到達目標】							
目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
マニュアル/その他毎授業時に配布。				授業によって自宅課題あり。			
回	授 業 概 要						テスト配点
1 (4/23)	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の職業を目指すにあたり具体的な目標設定をする。 入学式を振り返り、自分が学びたいことや職業を明確化する。 言葉の花束 						
2 (4/30)	<ul style="list-style-type: none"> ・美容の職業を目指すにあたり具体的な目標設定をする。 個人目標→クラス目標を設定する。 ・GWの課題について(Teams) アイスブレイク クラスルール決め 						
3 (5/7)	GW課題発表&回収(Teams) サポートアンケート実施						GW課題→小テスト5点
4 (5/14)	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す業界について学ぶ ★キャリア→業界全体について:川畑先生 ※2コースを深く調べる。 →理想の業界人を考え、その業界を目指すにあたり必要な努力を理解する。 						
5 (5/21)	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す業界について学ぶ ※2コースを深く調べる。 						
6 (5/28)	OG講話に向けて、来校するOGの企業を調べる 質問を最低3個以上記入						小テスト5点
7 (6/4)	【中間テスト】 入学後、学んだことを振り返り目標が達成されたか確認する。 →中間テストを通して、入学後の自分を振り返り自分の成長度を確認し、コース選択の希望や次の目標を明確化できるようにする。						筆記試験 中間テスト20点
8 (6/11)	OG講話						午前:1組2組/午後:3組4組
9 (6/18)	OG講話の振り返り ★キャリア→川畑先生 履歴書の記入方法を学び、後期に向けての就職活動を意識する。 お辞儀の種類、方向の示し方の所作を学び学校生活の中で実践できるようになる。						
10 (6/25)	お客様体験について→アンケート実施						
11 (7/2)	後期に進むコースを決定する。 ★キャリア→川畑先生 →求人サイトの使い方 →インターンシップについて						
12 (7/9)	履歴書作成を学ぶ① 文章の書き方 自己分析 自己PR						
13 (7/16)	履歴書の書き方を学ぶ② 面接における諸対応を学ぶ (取得する資格の正式名称を確認し、履歴書に ※社会的マナーを確認し、楽しく有意義な夏休みを過ごせるように計画を立てる						夏休み課題 小テスト10点
14 (8/27)	就職活動に向けて自分のアピール方法を考える ★キャリア→川畑先生						
15 (9/3)	前期を振り返り、後期に向けての目標を設定する。						筆記試験 定期試験 60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ICTトレーニング	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	中村 石渡 黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期 集中授業
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
資料のデジタル化に伴い、microsoftteamsの使い方・課題の上げ方などを学ぶ。また、美容分野のSNSの現状を理解し、自身の就職活動に活かせるようなSNSの活用法を知る。 Teamsに関してはmicrosoftの研修を受講した講師が授業を実施する							
【授業を通じての到達目標】							
teamsでの授業受講方法が理解し、自身で課題が提出できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	オリエンテーション teamsアプリのダウンロード 登録・資料確認実施						
2							
3							
4							40点
5	SNS (インスタグラム) の活用方法を理解する 企業側からの視点・プレゼンの活用方法・フォロワーの伸ばし方を学ぶ teamsの課題に対し適切に回答する方法を知る						
6							
7							
8							60点
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			



科目名 (英)	トレンド研究 I	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	中村 石渡 黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイク・ネイル・エステ・ファッションそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻選択に向けての思いを高める							
【授業を通じての到達目標】							
4業種の仕事のやりがいなどが理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グループワークによる企業シェア						
2							
3							
4							40点
5	企業授業実施 (メイク・ネイル・エステ・ファッション) 振り返り・グループシェア						
6							
7							
8							60点
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			



科目名 (英)	1・2年生交流会 1 and sophomore Meet-the-people session	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石渡・中村・黒谷
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 両学年の交流をすることで卒後のつながりを強化する。また2年生は1年生へ自分たちの得た知識・技術を披露することで自分たちが学んだコースの強みを理解する。1年生は2年生から施術を受けることで各コースで学べる内容を理解し、後期のコース選択のヒントを得ることができる							
【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
2年生は技能・知識を披露して1年生はコース選択の参考にすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具 スマートフォン				帰宅での調べ課題			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	1・2年生交流会に向けて各コース(MA/NL)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
2	1・2年生交流会に向けて各コース(ES/FA)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
3	1～2回の授業でまとめた内容をグループでシェアすることでより深く各業態について知ることができる						
4	1～3回の内容をもとに2年生と交流するコースを選択する						
5	4回目授業で決めたコースについて質問シートをまとめ						
6	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる①						
7	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる②						
8	6～7回の授業で施術してもらった先輩へお礼状を書くことで、自分が得た知識についてアウトプットを行うことができる						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	メイク基礎A		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	関・深井・中野	
学科・コース			授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	前期	
							曜日・時間	(木) 1-1 1-3 (月) 1-2 1-4	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)									
20年以上メイクアップの仕事に関わってきました。複数の美容専門学校で10年以上教育にも携わっております。技術の土台となる基本的なスキンケアやメイクテクニックのみではなく、マナーなどの知識もお伝えします。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。(深井) 目的:フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。概要:テキストに基づいてメイクをする際のポイントや注意点を覚え、相モデルでの反復練習と技術チェックで基本のフルメイク技術を学ぶ。JESCメイク検定科目でもあるが様々なメイクができるようになるためには重要な基本技術である。									
【授業を通じての到達目標】									
基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を修得する。JESC検定合格。									
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】				
Basic Makeup									
回	授業概要						テスト配点		
1	授業内容・ルール・教材確認・メイク前準備・スキンケア手順						1		
2	テーブルセッティング・スキンケア実技・ファンデーション理論・実技						1		
3	コンシーラー・フェイスパウダー理論・実技						1		
4	ハイライト・シェイディング理論・実技						1		
5	アイブロウ理論・実技						1		
6	メイク前準備～アイブロウ実技						1		
7	中間試験						実技20点		
8	アイメイク理論・実技						2		
9	リップ理論・実技						2		
10	チーク理論・実技						2		
11	時間配分・フルメイクデモ30分・フルメイク50分タイム取り						2		
12	フルメイク40分タイム取り						2		
13	フルメイク30分タイム取り・筆記模擬試験						2		
14	フルメイク30分タイム取り・検定注意事項読み合わせ						2		
15	定期試験・検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施						実技60点		
【特記事項】					【評価について】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				

科目名 (英)	ネイル基礎	必修選択	必修	年次	1	担当教員	橋本勇人小宮弥生
学科・コース	トータルビューティークラス	授業形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 1-1 水曜 1.2限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ネイリストとして24年間、店長、スタッフ育成、人事などにたずさわり、スクール講師としても20年以上勤めてきました。この経験を生かしこれから皆さんが学ぶネイルの基礎知識から専門知識を伝え検定試験3級合格までをサポートしていきます！</p> <p>ネイルサロンを11年経験し、店長、エアマネージャー、人事、教育に携わってきました。</p> <p>初めてネイルを学ぶ中で、楽しさや知識に重点をおいて、検定合格を目指して様々な知識をお伝えします</p> <p>概要： この科目ではネイリスト技能検定試験を通じて衛生と消毒、爪の構造、爪の病気とトラブル、ネイルの技術形態、テーブルセッティング、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、ネイルケアの安全な技術、各種カラーリング、フラットアート（イラスト）ネイルアートの技術を修得するトータルビューティークラスを学ぶ学生にとって基本的な技術である</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している</p> <p>ファイリング、メタルブッシュヤー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができるカラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げる事ができる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
<p>JNAテクニカルシステムベーシック配布教材</p> <p>エブロン</p> <p>バスタオル1枚</p> <p>フェイスタオル2枚ハンドタオル1枚ピンセット</p> <p>ビニール袋(大きさB5～A4位、ノート位の大きさ)セロテープ</p> <p>キッチンペーパー（ロールタイプ）2枚1組を6組以上筆記用具</p> <p>ハサミ メモ帳 タイマー</p>							
回		授業概要				テスト配点	
1		シラバス読み合せ教材説明 ネイルケアの用具用材と使用目的 p71.72 (ラベル貼り) テーブルセッティング[基本的なテーブルセッティング p70] 目標：教材の名称と使用目的を覚える 基本的なテーブルセッティングを覚える					
2		オンライン 学科[爪の構造と働き p16.17]ファイリング相モデル動画 手指消毒 動画→実践 フリーエッジのカットスタイル動画→練習 目標：爪の構造と働きを覚える 手指消毒の方法を覚え実践できる フリーエッジのカットスタイルを覚える					
3		オンライン 学科[爪の構造と働き p18.19]フラットアート(イラスト 花) 動画[・チップの組み立て～カラーリング(13分) ハイビスカスのバランス(30分) ・ハイビスカスの描き方(25分)バラの描き方(1706”)] ガーベラ 描き方デモ→練習 目標：バランス、描き方を覚える					
4		テーブルセッティング確認 ファイリングデモ→練習 相モデル 目標：エメリーボードの持ち方 ラウンドのファイリング手順を覚える					
5		テーブルセッティング確認 ファイリング確認 カアデモ→練習 相モデル 目標：正しい手順でファイリングケアが行える ブッシュヤーとニッパーの正しい角度、持ち方、動かし方、支えができる				小テスト20点	
6		テーブルセッティング確認 カラーリングデモ→練習：動画[・ファイリング練習(チップ) ・カラーリング赤ポリッシュ練習(チップ)] 目標：ブラシの持ち方、支えができる カラーリングのブラシのストロークの順番とブラシの角度、ブラシ圧を覚える					
7		テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート両手5本(右手親、人、中左手親、人) 35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル 目標：自爪のサイズに合わせてアートが描ける					
8		テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート両手5本(右手親、人、中左手親、人) 35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル採点基準表配布 目標：時間内に施術ができる					
9		テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート両手5本(右手親、人、中左手親、人) 35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル 目標：時間内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える減点、失格を覚える					
10		◆相モデルの1入目が中間テストを受ける 事前仕込み(ケア、ラウンド、カラーリングトップまで【60】※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ポリッシュオフ、ファイリング、クリーンアップ(ケア) アートカラーリング 【両手60分】 目標：時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できている				中間テスト20点	
11		検定対策※モデル同様可能 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 目標：時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できている					
12		ケア カラーリング (ピンク ナチュラルスキンカラー)					
13		フラットアート(ハート リボン) 目標：ムラのない塗り方を理解できているバランスのよい描き方を覚える 苦手なアートを反復練習し繊細に描ける					
14		アート(レース、チェック) 目標：細く繊細なラインを描くためのブラシワークを覚える苦手なアートを反復練習し繊細に描ける					
15		アート(リボン、ハート、レース、チェック)をチップに施す目標：ムラなく繊細に描ける				定期試験60点	
【評価について】							
<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価</p> <p>A評価(90～100点) / B評価(80～89点) / C評価(70～79点) D評価(60～69点)</p> <p>E評価(出席不良・評価資格喪失) / F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法</p> <p>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>							

科目名 (英)	エステ基礎	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤/福岡/佐野/小野
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャン、エステティック講師として25年以上関わってきました。エステティックはどんな仕事なのか、準備やご案内からマッサージ技術において一連の流れを体験しながら学んでいきます。ハンドテクニックによる足のマッサージを修得していただきますが、お客様に対する気配りなど、皆さんの今後プラスになるような知識を含めながらお伝えします。目的:エステティシャンで必要とされる技術や接客方法を学ぶ 概要:この科目ではボディマッサージ方法を学び、マッサージ手技やマッサージ中の姿勢や体重のかけ方など具体的に専門的に学びます。接客においては、お客様側を体験することでお客様目線で接客について学ぶことができます。(内藤)							
【授業を通じての到達目標】							
ボディエステティックを通し、接客、マッサージなどのトリートメント方法を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
実技マニュアルプリント、ボディ実技準備一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	ボディエステティックとは、目的と効果、事前準備について(P.50～54)						
2	【オンライン】基本6手技について、実技動画、前操作手順、セルフスクラブケア					小テスト 4点	
3	【オンライン】美容講座、13点指圧、前操作復習						
4	前操作～4まで、スチームタオル					小テスト 4点	
5	【オンライン】美容講座、前操作～4まで復習、5～20まで手順確認						
6	下肢後面～20まで一連の流れ、前操作～下肢後面マッサージ						
7	中間テスト(ご案内～前操作～下肢後面(20まで)～ふき取りの一連の流れ)					中間テスト 20点	
8	うつ伏せから仰向けのご案内の仕方 下肢前面ボディマッサージについて(～10)						
9	下肢前面ボディマッサージ(11～22)					小テスト 4点	
10	前面のディーブクレンジングと下肢前面ボディマッサージ						
11	下肢ボディマッサージについて(前操作～後面～前面) 姿勢と密着					小テスト 4点	
12	下肢ボディマッサージについて(前操作～後面～前面) 姿勢とリズム						
13	下肢ボディマッサージについて(前操作～後面～前面) 姿勢と強弱					小テスト 4点	
14	ボディエステティックの流れ ご案内～前操作～マッサージ～ふき取り						
15	定期試験(ご案内～前操作～下肢後面～下肢前面～ふき取りの一連の流れ)					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Hair&Fashion basic ヘア & ファッション基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	矢澤 勇
	学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師が様々なお客様へのスタイリング方法を教え、またスタイリストとしての仕事について実習・講義を行い学生たちがアドバイザーだけではなくスタイリストアシスタントしても活躍できる知識を得ることができる。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>お客様にあったスタイリングを提案し的確なコーディネートを組み立てることができるようになる。また、スタイリングについての理解を深め実践出来るようになる。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	セルフコーデチェック、プレゼン						
2	アイテム名やファッションワードなど						
3	セルフコーデのアドバイス、コーディネート①						
4	セルフコーデのアドバイス、コーディネート②						
5	①Tシャツリメイク						
6	②Tシャツリメイク						
7	③リメイクアイテムプレゼン(テスト)						
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Hair&Fashion basic ヘア & ファッション基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高岸・福島・秋本
	学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクスキルを必要とする化粧品ブランドでメイクアーティストを経て、現在バックステージ、ブライダル、広告、CMのヘアメイクとして活動する講師が、BAとして、販売に必要な製品の提案力を身に付ける指導を行う。アイテムの使い方、モデルに合わせた色、製品の選び方をメイク実践しながら学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアの基礎技術を身に付けて、セルフアレンジが出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8	道具説明・コテ慣らし						
9	ダウンスタイル(コテ巻き)						
10	ハーフアップ(ウィッグ)						
11	ハーフアップ(セルフ)					5	
12	アップスタイル(ウィッグ)						
13	アップスタイル(セルフ)					5	
14	テスト練習						
15	定期テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美肌検定	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30(1)	開講区分	前期
						曜日・時間	金曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャン、エステティック講師として25年以上関わってきました。将来、美容業に携わる皆さん自身の為に美肌の知識を深めるとともに、周りの方にもアドバイスができるようになるよう、普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。目的:美肌検定に合格できるための必要な知識を学ぶ。概要:この科目では肌について専門的に学びますが、食事法や運動法、お手入れな方法と幅広く学ぶことで、内外からトータル美容を学ぶ学生にとっても重要な基本的な知識である。							
【授業を通じての到達目標】							
美肌検定に合格する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美肌検定テキスト							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について(P.8~13)						
2	美肌ケアの基本、運動、栄養について(P.16~24)					小テスト4点	
3	皮膚の構造と働きについて(P.26~27)						
4	4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造機能について(P.28~31)					小テスト4点	
5	しわ、たるみについて(P.32~33)						
6	年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について(P.34~38)						
7	中間テスト(筆記テスト)					中間テスト20点	
8	細胞再生修復、睡眠とホルモン、女性ホルモン、お手入れについて(P.40~46)						
9	体調と肌、活性酸素とは、活性酸素の要因、紫外線について(P.48~53)					小テスト4点	
10	女性ホルモンと肌、温度・湿度と肌、季節にあったお手入れ方法について(P.54~59)						
11	クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて(P.62~65)					小テスト4点	
12	化粧品の基本の使い方と選び方、化粧品の原料と役割、自分の肌に合う化粧品の見つけ方、薬機法						
13	フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関係する表情筋、セルフマッサージについて					小テスト4点	
14	美肌を作る簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて						
15	定期試験(美肌検定試験)					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ニール検定対策	必修選択	必修	年次	1	担当教員	小宮啓生内田由香
		授業形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科					曜日・時間	
【学習の目的】 ニールサロンを11年経験し、店長、エグゼクティブ、人事、教育に携わってきました。 初めてニールを学ぶ中で、美しさや知識を重んじて、検定合格を目指す様々な知識をお伝えします。 ニール専門学校でニールの専門知識を学びサロンワークを通じて個人接客のレベルの立ち上がりから講師業を経て活かす教育に関わらせて頂いています。 今後皆様には検定試験合格に向けたニール技術に必要な基礎的知識と専門技術を修得していただき試験合格に向けて試験官経験を活かして参考になるような知識と技術をお伝えします。 概要 この科目ではニール検定試験を受けて ニールの技術形態、ニールの歴史、爪の病気トラブルを理解する。 テーブルセッティング、ニールケア、ニールアートに関する基本的な知識を理解し、 ニールケアの安全な技術、各種カラーリング、フライング(ニールアート)ニールアートの技術を修得する							
【授業を通じての到達目標】 ニール検定試験3級に合格できるレベルに達している フライング、メタルブッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができるカラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランスよく繊細に仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】		【授業外における学習】					
JNAテクニカルシステムベータブック配布教材 エブロン バスタオル1枚 フェスタタオル2枚(ハンドタオル) 絞ヒモセット ピニール袋(大きき85×44位、ノット位の大きき)セロテープ キッチンペーパー(ロールタイプ)2枚1組を6組以上筆記用具 ハサミメモ帳 タイマー							
回		授業概要					テストポイント
1		シラバス、コソウ読み合わせ 学科[ニールの技術形態 614.15]テーブルセッティング確認 エブロンボードの蓋取り ユグスティックのカスタム(前引)2種コソンスティック作成※大、小の異なる 前後の説明 目標 :ニールの技術形態を知る 基本的なテーブルセッティングを覚える エブロンボードの蓋取りを行いセローボードを安全に使用できる状態にするウグスティックをカスタマイズして使用できる状態にする コソンスティックが用途に合わせた大ききで作成できる					
2	4/30	【オンライン】 シラバス、コソウ読み合わせ テーブルセッティング動画→セッティング手順動画 動画一実演 フリーエッジのカスタム動画→練習 学科[フリーエッジのカスタム] [ニールの歴史] [手指消毒] 目標 :ニールの歴史を知る 手指消毒の方法を覚え実践できる フリーエッジのカスタムを覚える					
3	5/7	【オンライン】 学科[爪や皮膚の病気トラブル]テーブルセッティング メタルブッシャー使用手法動画→練習 ガーゼキューティクルニッパーの使用手法動画→持ち方の練習 目標 :爪や皮膚の病気トラブルを知り、機能範囲を見極められるようになるメタルブッシャーの用途、持ち方、支え、動かし方、角度を覚える キューティクルニッパーの持ち方を覚える					
4	5/14	【オンライン】 メタルブッシャー使用手法動画 自分の手で行う方法デモンストレーション練習ガーゼキューティクルニッパーの使用手法動画→持ち方の練習 カラーリング(チップ)動画→練習 目標 :メタルブッシャーの用途、持ち方、支え、動かし方、角度を覚えるキューティクルニッパーの持ち方を覚える カラーリングのライン取りと塗布方法を修得する					
5	5/21	【オンライン】 要項説明 採点基準読み合わせ フライング(ラウンド) カラーリング アートをチップに貼す 目標 :ラウンドは円周の一部のカーブを描いて角がなく、左右対称であるカラーリングはムラなく塗布できている アートはバランスよくムラなく繊細に描けている 【教材】 テーブルセッティング確認クア一練習 相モデル 目標 :メタルブッシャーの用途、持ち方、支え、動かし方、角度を覚えるキューティクルニッパーの持ち方を覚える モデル(お客様の手)の持ち方を覚える					
6	5/28	【オンライン】 要項説明 採点基準読み合わせ フライング(ラウンド) カラーリング アートをチップに貼す 目標 :ラウンドは円周の一部のカーブを描いて角がなく、左右対称であるカラーリングはムラなく塗布できている アートはバランスよくムラなく繊細に描けている 【教材】 テーブルセッティング確認クア一練習 相モデル 目標 :メタルブッシャーの用途、持ち方、支え、動かし方、角度を覚えるキューティクルニッパーの持ち方を覚える モデル(お客様の手)の持ち方を覚える					
7	6/4	テーブルセッティング、フライング ケア、カラーリング、アート両手5本(右手腕、人、中 左手腕、人) 35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル 目標 :自分のサイズに合わせてアートが貼ける					
8	6/11	【オンライン】 テーブルセッティング フライング、ケア、カラーリング、アート (自分の利き手ではない方5本) 35分ポリッシュオフ (5分) ※繰り返し練習					小テスト20点
9	6/18	テーブルセッティング、フライング ケア、カラーリング、アート両手5本(右手腕、人、中 左手腕、人) 35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル採点基準表配布 目標 :期限内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える減点、失格を覚える					
10	6/25	テーブルセッティング、フライング ケア、カラーリング、アート両手5本(右手腕、人、中 左手腕、人) 35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル 目標 :期限内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える減点、失格を覚える					
11	7/2	テーブルセッティング、フライング ケア、カラーリング、アート両手5本(右手腕、人、中 左手腕、人) 35分 ポリッシュオフ (5分) 相モデル 目標 :期限内に施術ができる 採点基準表の項目を覚える減点、失格を覚える					
12	7/9	● 相モデルの2人目が中間テストを受ける 事前仕込み(ケア、ラウンド、カラーリング)まで【60】※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ポリッシュオフ、フライング、クレンジング(ケア) アートカラーリング 【両手60分】 目標 :期限内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準を理解できている ※休憩なし					中間テスト20点
13	7/16	ニール検定試験 検定対策 仕込み ※モデル同様目標、期限内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準を理解できている					
14	8/27	ケア カラーリング (ホワイトバー) ※ニール検定2級の内容目標:ホワイトバーのブラシワークを覚える ムラなく塗布できる					
15	9/3	定期試験 フライング(長さや形を合わせる) カラーリング (ホワイトバー) 目標 :キューティクルからフリーエッジの長さや形を合わせることでホワイトバーのブラシワークを理解しムラなく塗布できる					定期60点
【特記事項】		【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					

科目名 (英)	選択ヘア&メイク	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高岸・秋本
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	実技	総時間 (単位)		開講区分 曜日・時間	前期 火曜日
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクとしてTV、CM、広告、バックステージ、サロン、化粧品ブランドアーティストとして活動している講師から現場で実際に使う技術を登校とオンライン授業で、実践と座学でレクチャーする。							
【授業を通じての到達目標】							
セルフで行うヘアとメイクの技術を学び、実践的なスキルとセルフプロデュース力を身につける!							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回						テスト配点	
1	(ヘア) 道具の確認・セルフのコテ巻き リバース・フォワード・ツイストを習得する						
2	(ヘア&メイク) パーソナルカラー スプリングメイクを学ぶ ツイスト巻きを習得する						
3	(ヘア&メイク) パーソナルカラー サマーメイクを学ぶ ポニーテールを習得する						
4	(ヘア&メイク) パーソナルカラー オータムメイクを学ぶ ハーフアップを習得する						
5	(ヘア&メイク) パーソナルカラー ウィンターメイクを学ぶ ピンクスタイル・ローボニーを習得する					10	
6	中間テスト練習						
7	中間テスト					20	
8	(メイク)骨格修正メイクを習得する (アイゾーン)						
9	(ヘア&メイク) 骨格修正メイク②コントゥア&骨格に合わせたヘアアレンジを習得する						
10	シチュエーション別ヘア&メイク①ドレスアップスタイルを習得する						
11	シチュエーション別ヘア&メイク② カジュアル&スポーティスタイルを習得する						
12	シチュエーション別ヘア&メイク③ を習得する						
13	シチュエーション別ヘア&メイク④ オフィスカジュアルを習得する						
14	定期試験練習(就活ヘア&メイク)					10	
15	定期試験 (就活ヘア&メイク)					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 			

科目名 (英)	選択ファッション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋 直哉
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界の基本的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う							
※講師: エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
基本的なファッションの知識を習得しプレゼンテーション能力向上や、職種知識を習得して業界への知見を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業毎にプリントを配布				店舗見学			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ファッションとは？流行とは？情報とはどのように入ってくるのか？ 自分たちを取り巻くファッションについて考察する。(SNS、雑誌、広告などを調べ不考察する)						
2	ファッションの基本的な知識(スタイリング、ディテール名称、素材知識、カラーなど)を知る。						
3	ファッションのバックボーン(歴史やカテゴリー、コレクションなど)を知ることによって、ファッション、小売店舗の種類を理解してファッション業界の幅を知る。						
4	アパレル以外のファッションについての理解。 (服飾雑貨、コスメ、ヘアメイクなどアパレルを取り巻くファッションについての理解)						
5	ファッション業界についての業務理解① (リテール・小売業についての理解を深める)						
6	ファッション業界についての業務理解② (MD、VMD、バイヤー商品企画などの商品部署、PRやマーケティングの広報部署についての理解を深める)						
7	中間テスト						40点
8	スタイリングプレゼンテーションの習得① (現在のトレンドを読み取り、スタイリングを組み、プレゼンテーションを行う)						
9	スタイリングプレゼンテーションの習得② (オケーション別スタイリングの理解とスタイリング実践)						
10	年代別ファッションのトレンドを調べ、ファッション業界の流れを知る(60年、70年、80年トレンドの理解)。						
11	コレクションブランドから現在のトレンドを読み取り、スタイリング提案に繋げる(提案力の向上)。						
12	コレクションブランドから読み取れるカラー、アイテム、ヘアメイクについてのトレンドの理解。						
13	ショッピングリサーチを行い、ファッション業界の現場を知る(接客、店作り、商品構成、立地などをリサーチ)。						
14	トレンドを加味したスタイリングプレゼンテーション資料の作成						
15	定期試験(スタイリングプレゼンテーション)						60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) 評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	選択エステ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	田畑 優子
学科・コース	トータルビューティー科エステ分野	授業形態	実習	総時間 (単位)		開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日 3、4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>・講師:美容学校卒業後、大手サロンでエステティシャンとして数多くのお客さまの美容上のお悩みをケアした実務経験を持つ。また国内外のエステティック関連資格を保有し、複数の美容専門学校で美容指導に携わってきた。</p> <p>・目的:エステ基礎で習得した技術を基に、エステティックの効果をより実感できるテクニックや実践方法を習得する。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>・エステトリートメントの効果を実感することで、エステティシャンのやりがいや楽しさを学ぶ</p> <p>・知識、技術、ホスピタリティマインドを身につける</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
<p>・プリント</p> <p>・実技準備物一式</p>							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	オリエンテーション エステティック概論(エステティック/エステティシャンとは)を学ぶ						
2	施術前の準備と接客(ホスピタリティマインド) ご案内、オイル塗布、マッサージ、拭取りを学ぶ					小テスト 4点	
3	ホスピタリティとタオルワーク ボディマッサージ(背中)の手順を学ぶ						
4	技術の向上 ボディマッサージのリズム、強弱、力加減について学ぶ					小テスト 4点	
5	ボディマッサージ(腹部)の手順を学ぶご案内、マッサージ、誘導、片付け						
6	技術の向上 ボディマッサージのリズム、強弱、力加減について学ぶ						
7	中間テスト					中間テスト 20点	
8	ディーブクレンジングの目的と効果、注意事項、禁忌事項および背中のスクラブとマッサージを学ぶ						
9	技術の向上 ご案内、スクラブ、背中のマッサージ、腹部のマッサージ、誘導を学ぶ					小テスト 4点	
10	パックの目的と効果、注意事項、禁忌事項および背中のパックとマッサージを学ぶ						
11	技術の向上 ご案内、マッサージ、パック、誘導、アフターカウンセリングを学ぶ					小テスト 4点	
12	ボディマッサージ(二の腕)の手順を学ぶ ご案内、マッサージ、誘導、アフターカウンセリング						
13	技術の向上 ご案内、背中のマッサージ、腹部のマッサージ、二の腕のマッサージ、誘導、アフターカウンセリングを学ぶ					小テスト 4点	
14	上半身トリートメントの組み立て お客さまの要望に合わせたメニューの組み立てを考える						
15	定期試験					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			